

## 日本人の弱点

テレビを点けても、新聞を広げても、真っ先に飛び込んでくるのは新型コロナウイルス感染症に関するニュースばかり。岐阜県の感染者数は、数だけ見ると東京や大阪のような大都市より少ないのですが、岐阜県の規模で今の感染状況は、東京のそれとさほど変わりはないようです。古田知事は政府に、岐阜県にも「緊急事態宣言」を発令するように要請をしました。事態は、私たちが思っている以上に深刻です。

変異株の感染についても、予断を許しません。感染しても症状が出ないとか、基礎疾患があると容態が悪化するとかいう情報が出てきているので、ややもすると、「感染しても大丈夫だろう」と考えてしまいがちです。しかし、変異株はそういうわけにはいきません。若者の変異株感染が最も多く、基礎疾患がなくとも重症化する可能性があります。変異株の感染者も、確実に増えていることを軽く考えてはいけません。

感染については、「第四波」「三回目の緊急事態宣言」に象徴されるように、日本人の甘さというか油断というか、徹底的に取り組めない国民性があからさまになりました。

「まん延防止重点措置」や「緊急事態宣言」などの、上からの指示があると自粛し、事態も改善の方向に向かいます。しかし、それがなくなると、全てが許されたかのように思い込み、ゆゆしき状態にもう一度戻ってしまう……働きかけや指示がないと、自らを律することができない日本人の弱点だと言えますね。「主体的」とは大きくかけ離れていると言えるでしょう。

対照的なのがニュージーランドですね。ニュージーランドはパンデミック（世界的流行）の初期、国内の感染者が数十人の時点で、世界でもいち早くロックダウン（都市封鎖）を実行しました。国境を封鎖し、渡航者全員を強制隔離し徹底的に接触者追跡を行いました。現在は、ほとんどコロナ流行以前の日常に戻っているようで、最近約一か月間の新規感染者は三名のみ。街中でマスク姿の人は全くおりませんし、「ソーシャルディスタンス」の看板等もなく、いたって平常のようです。

東京オリンピックと、日本経済悪化のプレッシャーのためでしょう。か。日本政府のコロナ対策には、歯切れの悪さを確かに感じます。しかし、私はそればかりではないうような気がします。先に書いたように、指示がないと自粛できない日本人、いや、最近では、指示があっても自粛できない日本人があまりにも多くなっています。日本政府により効果的な対策を求めながら、日本人も主体的に動くべきだと私は思います。

皆さんはどうですか。感染症対策に限らず、日常生活において指示や働きかけがなくても動いていますか。自分で考えて自分の行動を決めていますか。ぜひ振り返ってみてはいかがでしょうか。

（五月十七日 記）